

NYマーケットレポート (2016年2月18日)

NY市場では、序盤に発表された米新規失業保険申請件数や、フィラデルフィア連銀景況指数が予想より改善したことを受けて、ドルは序盤小動きながら堅調な動きとなった。しかし、堅調な展開で始まった米株価が下落に転じたことや、EIA在庫統計で原油在庫が増加となり、原油価格が大きく下落したことを受けて、ドル円・クロス円は終盤まで軟調な展開が続いた。また、ECB政策委員会の議事要旨で、世界的な成長減速のリスクが予防的な金融緩和策を正当化するかどうかを協議したことが示されたことで、改めてECBが3月に追加刺激策を決定するとの見方が強まり、ユーロは大半の主要通貨に対して軟調な動きとなった。

2016/2/18 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	113.94	114.34	113.76
EUR/JPY	126.78	127.16	126.77
GBP/JPY	162.80	163.27	162.24
AUD/JPY	81.40	82.03	81.19
EUR/USD	1.1129	1.1150	1.1119

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	114.02	113.62
EUR/JPY	126.85	126.13
GBP/JPY	163.98	162.24
AUD/JPY	81.72	81.08
EUR/USD	1.1142	1.1084

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	16196.80	+360.44
ハンセン指数	19363.08	+438.51
上海総合	2862.89	-4.45
韓国総合指数	1908.84	+24.90
豪ASX200	4992.00	+109.90
インドSENSEX指数	23649.22	+267.35
シンガポールST指数	2657.57	+43.78

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	5971.95	-58.37
仏CAC40	4239.76	+6.29
独DAX	9463.64	+86.43
ST欧州600	328.91	+0.14
西IBEX35指数	8295.40	-69.50
伊FTSE MIB指数	17112.36	-265.53
南ア全株指数	49857.70	-181.61

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	113.25	113.94	113.16
EUR/JPY	125.71	126.31	125.60
GBP/JPY	162.32	163.80	162.07
AUD/JPY	81.04	81.54	80.85
NZD/JPY	75.22	75.50	75.07
EUR/USD	1.1102	1.1124	1.1072
AUD/USD	0.7156	0.7162	0.7133

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16413.43	-40.40
S&P500	1917.83	-8.99
NASDAQ	4487.54	-46.53
日経225 (CME)	15955	-95
🇨🇦 トロント総合	12931.21	+64.05
🇧🇷 ボルサ指数	43516.66	-68.57
🇧🇷 ボベスバ指数	41477.63	-153.18

2/19 経済指標スケジュール

13:30	【日本】12月全産業活動指数
14:30	【日本】1月全国百貨店売上高
16:00	【ドイツ】1月生産者物価指数
17:00	【トルコ】2月消費者信頼感指数
17:30	【スウェーデン】1月失業率
18:30	【英国】1月小売売上高
18:30	【英国】1月公共部門純借入所要額
18:30	【英国】1月公共部門純借入額
22:30	【米国】1月消費者物価指数
22:30	【カナダ】12月小売売上高
22:30	【カナダ】1月消費者物価指数
00:00	【欧州】2月消費者信頼感

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1226.30	+14.90
NY 原油	30.77	+0.11
CMEコーン	369.75	-1.75
CBOT 大豆	882.75	-2.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.69%	0.74%
3年債	0.86%	0.93%
5年債	1.20%	1.26%
7年債	1.50%	1.57%
10年債	1.74%	1.81%
30年債	2.61%	2.68%

2/19 主要会議・講演・その他予定

・クリーブランド連銀総裁 講演

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

欧州タイム

《企業決算》

米ウォルマート

第4四半期の調整後1株利益は1.49ドル（予想1.46ドル）

21:45

ECB1月議事要旨

- ・「ユーロ圏経済見通しへのリスク下向き、12月以降増大」
- ・「下振れリスクに事前に対応することが望ましいとの指摘」
- ・「政策手段の実施でECBに制限ないこと確約する必要」
- ・「原油安が2016年インフレ見通しを著しく下押し、2次的影響リスク高まる可能性」

22:00

ドル/円 113.85 ユーロ/円 126.20 ユーロ/ドル 1.1087

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6002.79	-27.53	ダウ 先物ミニ	16464	+51
仏 CAC40	4267.93	+34.46	S&P 500 ミニ	1927.75	+5.00
独 DAX	9526.90	+149.69	NASDAQ 100 ミニ	4215.00	+18.25

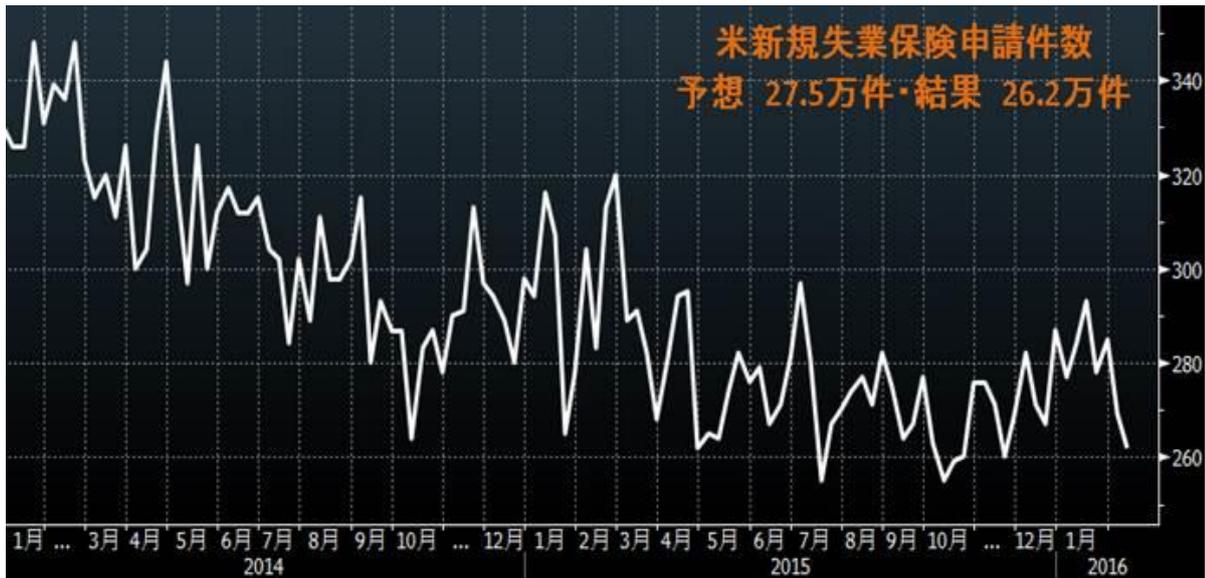
(出所: SBILM)

22:30

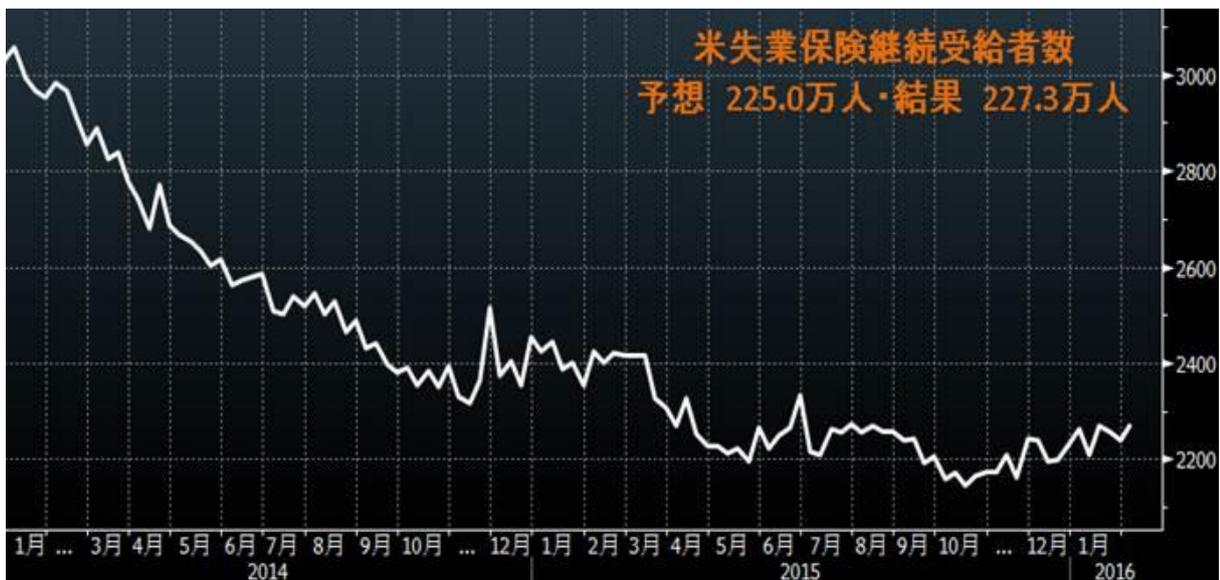
《 経済指標の結果 》

米新規失業保険申請件数 26.2万件（予想 27.5万件・前回 26.9万件）

米失業保険継続受給者数 227.3万人（予想 225.0万人・前回 224.3万人）
 前回発表の223.9万人から224.3万人に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
16/02/13	262,000	-7,000	273,250	*****	*****
16/02/06	269,000	-16,000	281,250	2,273,000	1.7%
16/01/30	285,000	+8,000	284,750	2,243,000	1.6%
16/01/23	277,000	-17,000	282,750	2,260,000	1.7%
16/01/16	294,000	+11,000	285,250	2,274,000	1.7%
16/01/09	283,000	+6,000	278,500	2,219,000	1.6%
16/01/02	277,000	-10,000	275,750	2,264,000	1.7%
15/12/26	287,000	+20,000	277,000	2,234,000	1.6%
15/12/19	267,000	-5,000	272,500	2,205,000	1.6%
15/12/12	272,000	-10,000	270,750	2,195,000	1.6%
15/12/05	282,000	+13,000	270,750	2,242,000	1.7%

受給者数は集計が1週間遅れる

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

2月米フィラデルフィア連銀景況指数 -2.8 (予想 -3.0・前回 -3.5)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

◀ フィラデルフィア連銀指数 ▶

	2月	1月	12月	11月	10月	9月
景況指数	-2.8	-3.5	-10.2	-5.7	-5.9	-3.6
仕入価格	-2.2	-1.1	-8.3	-7.5	-3.2	-3.1
販売価格	-4.5	-2.8	-8.5	-4.1	-2.8	-5.5
新規受注	-5.3	-1.4	-11.1	-7.8	-9.8	8.6
出荷	2.5	9.6	-2.1	-3.6	-5.3	9.3
受注残	-12.7	-8.8	-17.6	-4.3	-11.7	-7.5
入荷遅滞	-16.1	-7.6	-6.1	-2.9	-5.0	-2.1
在庫水準	-17.1	-15.7	-5.7	-9.9	-16.4	-2.8
雇用者数	-5.0	-1.9	2.2	1.1	-2.8	6.1

6ヵ月先予想

	2月	1月	12月	11月	10月	9月
景況指数	17.3	19.1	24.1	36.9	31.4	36.8
仕入価格	11.9	18.8	26.0	22.4	18.4	26.9
販売価格	2.1	10.1	15.0	10.8	9.7	6.4
新規受注	19.8	21.1	34.5	44.9	35.4	40.3
出荷	20.2	22.0	36.6	40.1	34.5	37.2
受注残	-2.6	0.2	7.4	14.2	8.8	12.5
入荷遅滞	-10.3	-6.5	-2.3	0.8	-1.4	1.2
在庫水準	-8.9	1.5	-1.7	-1.2	-4.6	0.9
雇用者数	2.3	5.5	7.0	25.7	12.1	16.3

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

12月カナダ卸売上高 (前月比) 2.0% (予想 0.2%・前回 1.9%)
前回発表の1.8%から1.9%に修正



(出所：ブルームバーグ)

23 : 33

米主要株価

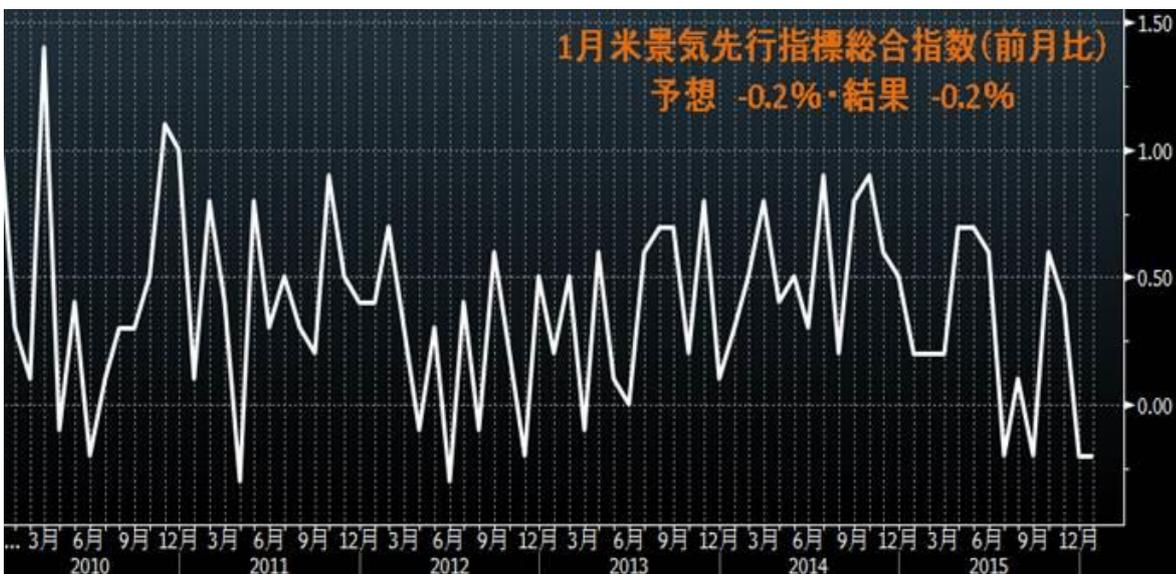
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16489.96	+36.13
ナスダック	4539.88	+5.81

(出所：SBILM)

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1月米景気先行指標総合指数(前月比) -0.2% (予想 -0.2%・前回 -0.3%)
 前回発表の-0.2%から-0.3%に修正



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

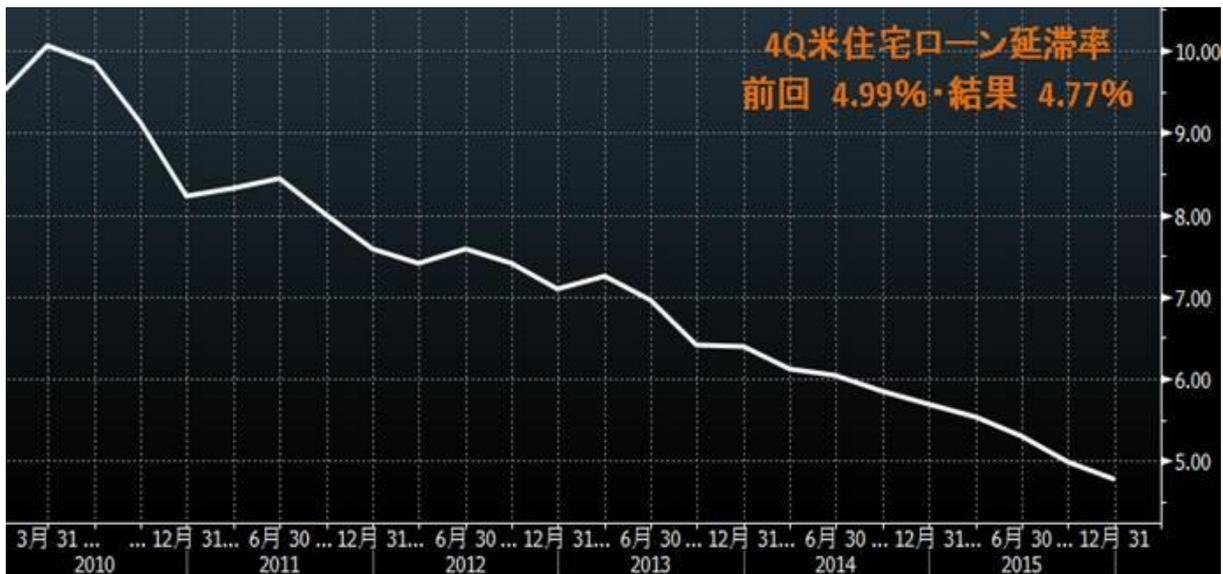
◀ 米景気先行指数 ▶

	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月
先行指数	-0.2	-0.3	0.5	0.5	-0.1	-0.1	0.0
一致指数	0.3	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.3
遅行指数	0.1	0.2	0.3	0.2	0.6	0.2	0.3

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

4Q米住宅ローン延滞率 4.77% (前回 4.99%)



(出所：ブルームバーグ)

0 : 35

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、米失業保険申請件数が市場予想を下回り、米経済の先行きを期待した買いが先行した。一方、前日まで3営業日連続で続伸したため、利益確定の売りも出ており、主要株価は売り買い交錯するもみ合いの展開が続いている。

1 : 00

◀ EIA 米週間在庫統計 ▶

原油在庫・・・215万バレル増加
ガソリン在庫・・・304万バレル増加
留出油在庫・・・140万バレル増加

◀ 経済指標のポイント ▶

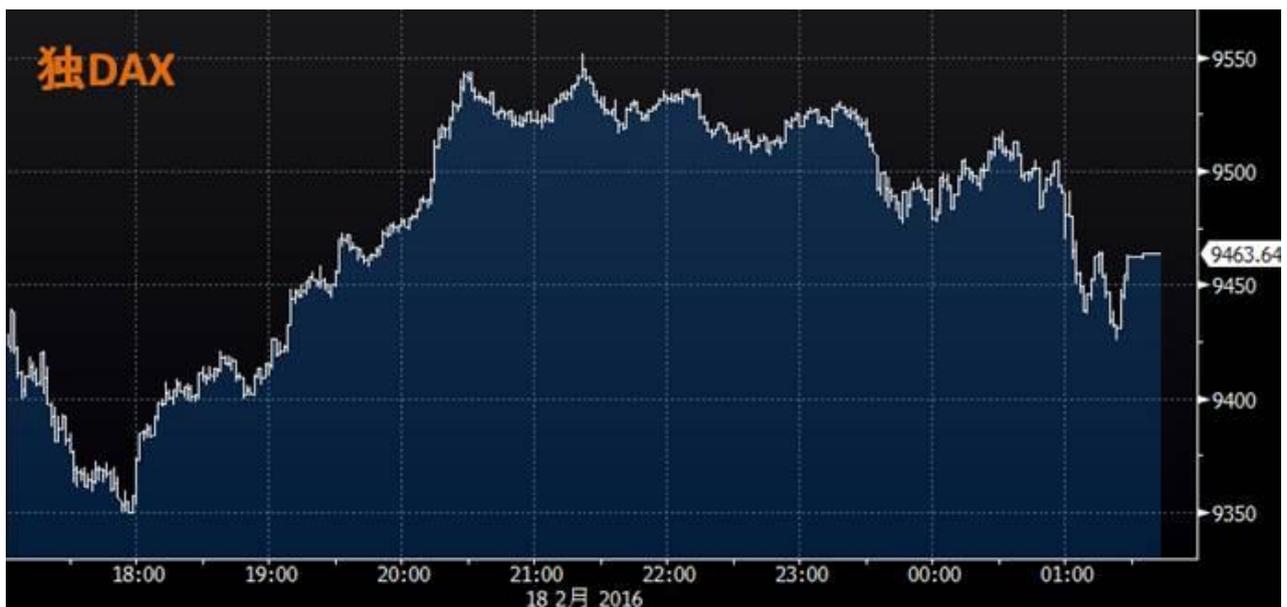
米失業保険申請件数は、前週比-0.7万件の25.2万件と2週連続で減少し、昨年11月21日までの週以来の低水準となった。昨年3月以降、30万人を下回って推移している。申請件数の4週移動平均は、前週比-0.8万件の27万3250人となった。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+3万人の227.3万人と3週ぶりに増加した。受給者総数の4週移動平均は、前週比+1万3500人の226万2500人となり、昨年8月22日までの週以来の高水準となった。受給者比率は、前週比0.1ポイント上昇の1.7%。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	5971.95	-58.37
仏 CAC40	4239.76	+6.29
独 DAX	9463.64	+86.43
ストック欧州 600 指数	328.91	+0.14
ユーロファースト 300 指数	1293.92	-1.76
スペイン IBEX35 指数	8295.40	-69.50
イタリア FTSE MIB 指数	17112.36	-265.53
南ア アフリカ全株指数	49857.70	-181.61

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英 FT は、EU 離脱の是非を問う英国の国民投票への警戒感から軟調な動きが続いた。独 DAX は、企業業績に対する期待感を背景に堅調な展開が続いた。



(出所: ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 16453.73 (-0.10)、S&P500 1920.55 (-6.27) ナスダック 4516.21 (-17.85)

《欧州のポイント》

①スウェーデン統計局の発表によると、1月の基調インフレ率は2011年8月以来の高水準に上昇した。中銀への追加利下げ圧力を後退させる内容だった。

スウェーデン中銀は、政策金利を-0.50%に引き下げた。インフレ率が中銀予想を2ヵ月連続で下回ったことが背景。1月のCPIインフレ率は、前年同月比+1.6%で、2011年8月以来の高水準だった。前月比は-0.4%、中銀による前年比の予想は1.46%だった。数字について中銀のヤンソン副総裁は「決定的ではない。重要なのは、このトレンドが続くことだ」と述べた。消費者物価指数は前月比-0.3%、前年同月比+0.8%だった。

②カンリフ英中銀副総裁は、利上げ時期を2年後にずれさせた先月の市場の動きについて、妥当ではないとの見方を示した。当地で開かれたイベントでの発言。イングランド中銀の利上げ時期についての市場の見通しは先月、1ヵ月前に比べて2年後にずれ、2019年第2・四半期となった。同副総裁は「このような変化につながる経済ニュースは見当たらない」とし、経済指標とイールドカーブになぜこのような乖離が生じたかは不透明と指摘。ただ、低成長と低インフレを「新常态」とする市場の見方を反映している可能性がある」と述べた。

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、米国株が下落に転じたのにつられて、安全資産とされる米国債を逃避的に買う動きが広がった。ただ、米失業保険申請件数が市場予想より少なかったことを手掛かりに米景気の先行き不安が後退し、国債が売られる場面もあった。

午前の利回りは、30年債が2.64%（前日2.68%）、10年債が1.78%（1.82%）、7年債が1.53%（1.57%）、5年債が1.23%（1.26%）、3年債が0.91%（0.93%）、2年債が0.73%（0.74%）。

《 ポイント 》

OECD（経済協力開発機構）は、中間経済見通しを公表し、2016年の世界の経済成長率予測を3.0%に下方修正した。昨年11月時点の予測は3.3%だった。米国、欧州、ブラジルの成長率予測を下方修正した。2015年の世界の経済成長率は3.0%と、5年ぶりの低水準だった。OECDは貿易・投資・賃金の伸びが依然として低過ぎると指摘。「金融政策だけでは限界がある」とし、「需要の拡大には、共同の政策対応を強化する必要がある」と主張した。財政出動の余地がある国はインフラへの公共投資を拡大すべきだとしている。

主要国では、米国とドイツの2016年の成長率予測をともに0.5ポイント下方修正し、それぞれ2.0%、1.3%とした。ユーロ圏の2016年の成長率予測も1.4%に下方修正した。中国の成長率予測は据え置いた。2016年が6.5%、2017年が6.2%に減速すると予想している。ユーロ圏については、原油安のプラス効果が予想を下回っていると指摘。超低金利とユーロ安も、持続的な投資の拡大につながっていないとの認識を示した。米国については、ドル高や原油安で昨年下半年に成長が減速したと指摘した。ブラジルの2016年の成長率予測は-4.0%に下方修正。インドについては、2016年の成長率予測を0.1ポイント上方修正し、7.4%とした。

4 : 45

NY金は、中心限月が前日比14.90ドル高の1オンス=1226.30ドルで取引を終了した。

5 : 35

《 要人発言 》

ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁～講演テキスト

- ・「緩やかな利上げが望ましい道筋」
- ・「最近の市場の混乱でも自身の経済見通し変わらず」
- ・「現行のインフレ率は低過ぎる」
- ・「2016年の米国の成長率を2.25%と予想」

5 : 40

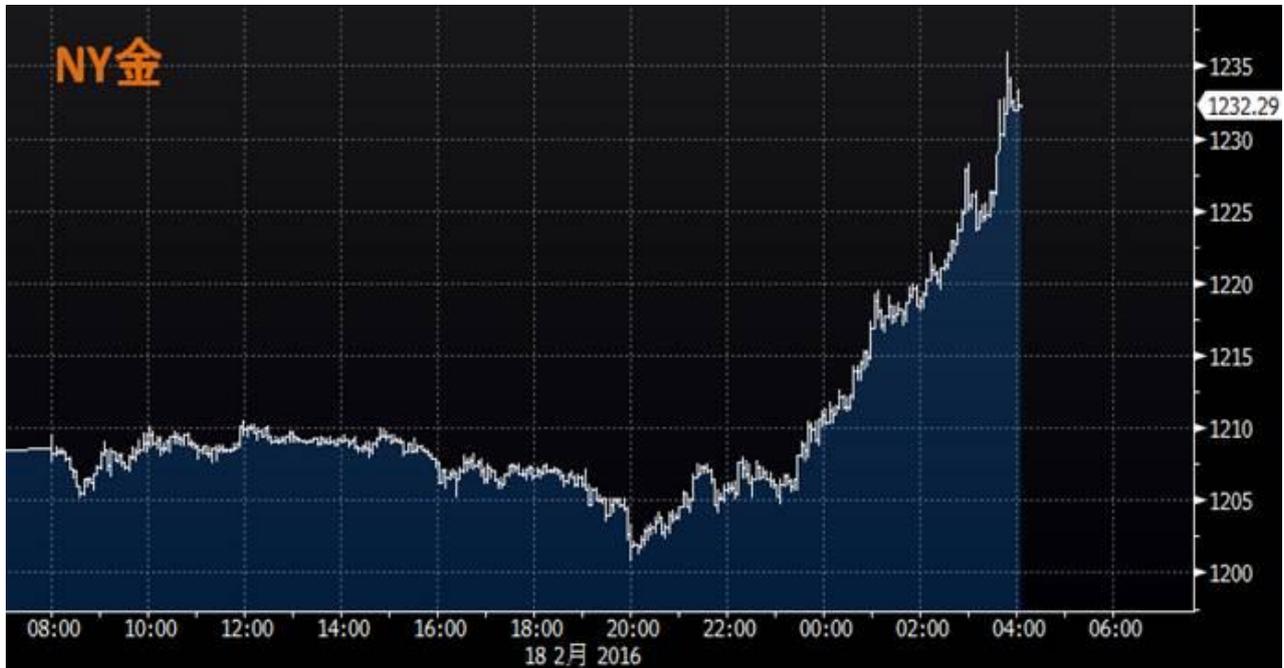
NY原油は、中心限月が前日比0.11ドル高の1バレル=30.77ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1226.30	+14.90
NY 原油	30.77	+0.11

(出所: SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

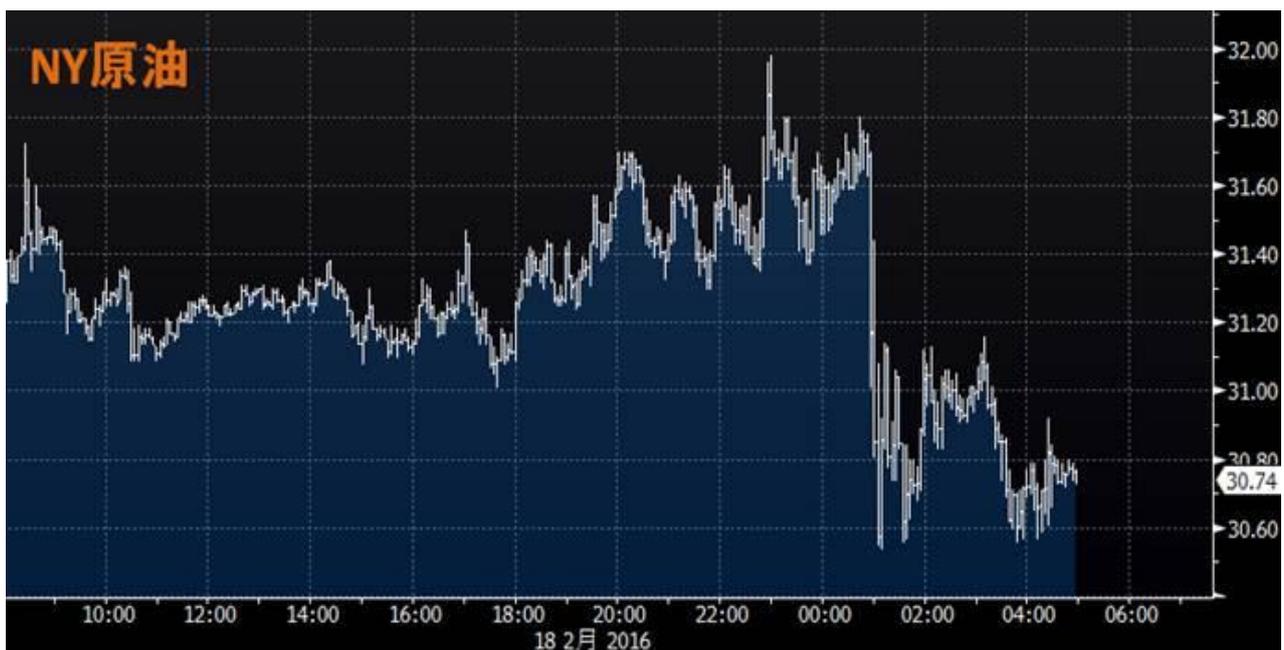
NY 金は、米国株が下落したことで比較的安全な資産としての需要が回復し、買いが優勢となった。



(出所: ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、有力産油国による生産調整に向けた動きを背景に供給過剰への警戒感が後退し、買いが先行した。ただ、その後は米石油統計で原油在庫が増加したのをきっかけに下落に転じ、上げ幅を縮小する動きとなった。



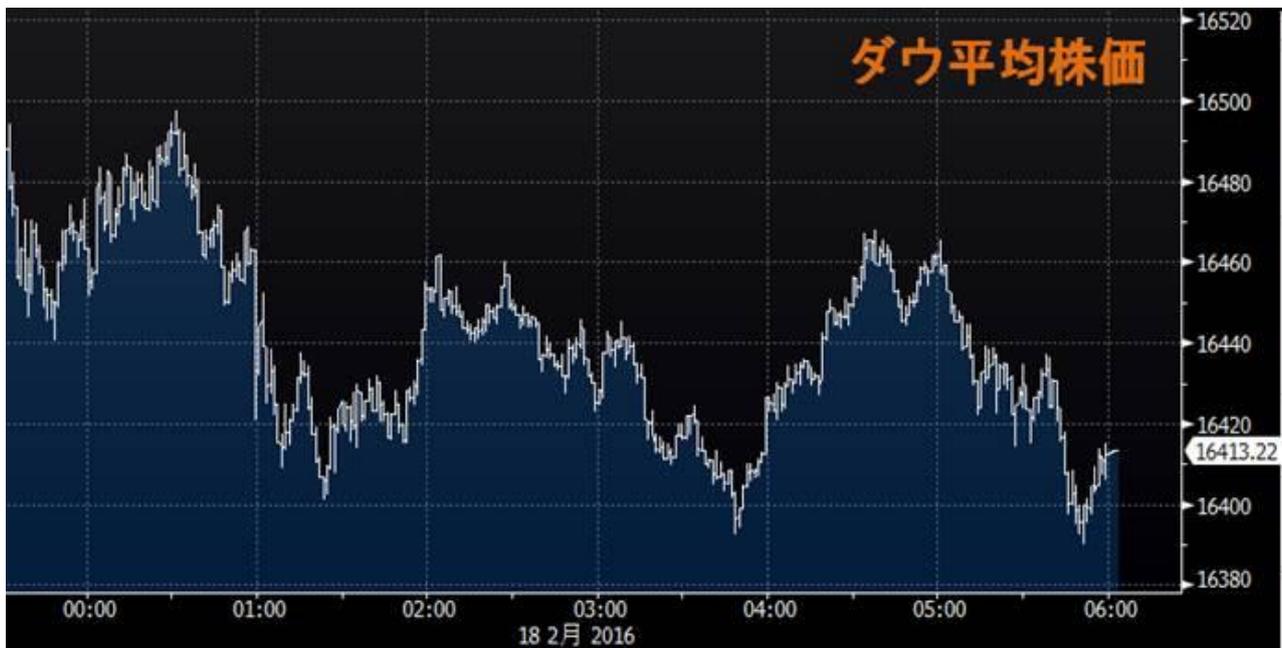
(出所: ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16413.43	-40.40	161511.84	16390.43
S&P500 種	1917.83	-8.99	1930.00	1915.09
ナスダック	4487.54	-46.53	4548.47	4482.77

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、序盤に発表された米失業保険申請件数が市場予想を下回り、米経済の先行きを期待した買いが入る一方、前日まで3営業日続伸となったことで、利益確定の売りも出ており、主要株価は売り買い交錯するもみ合いの展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなったものの、その後はマイナス圏まで下落するなど、終盤まで上値の重い動きが続いた。



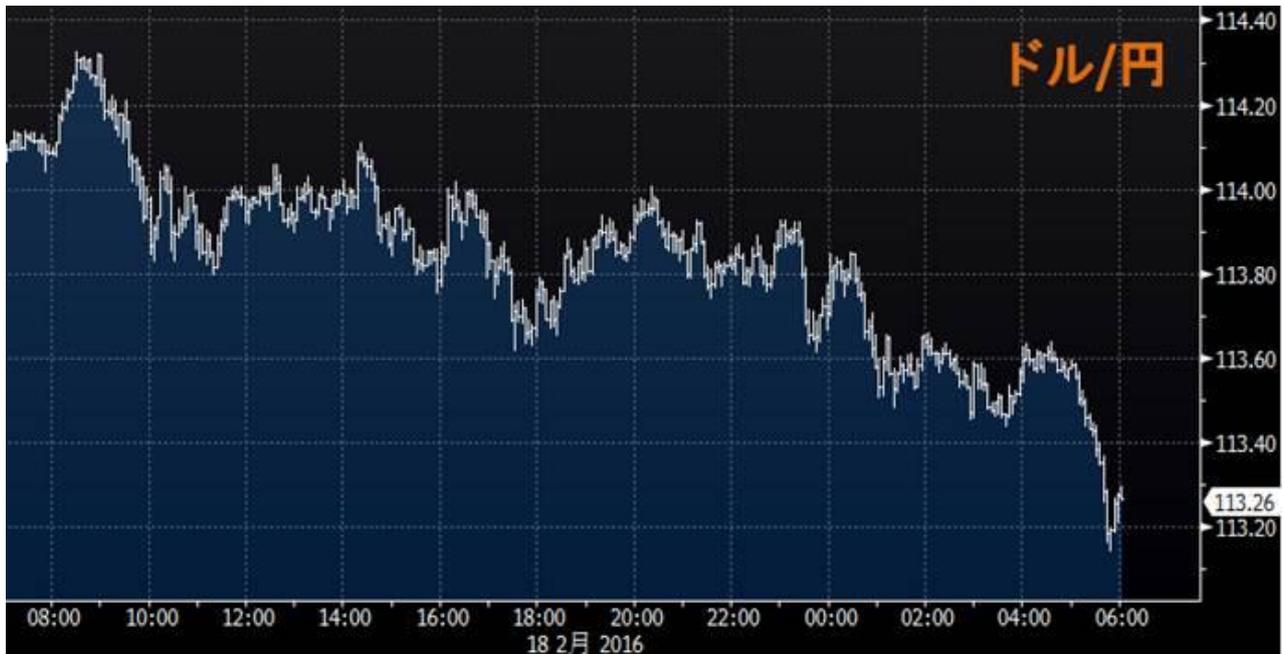
(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	113.25	113.94	113.16
EUR/JPY	125.71	126.31	125.60
GBP/JPY	162.32	163.80	162.07
AUD/JPY	81.04	81.54	80.85
NZD/JPY	75.22	75.50	75.07
EUR/USD	1.1102	1.1124	1.1072
AUD/USD	0.7156	0.7162	0.7133

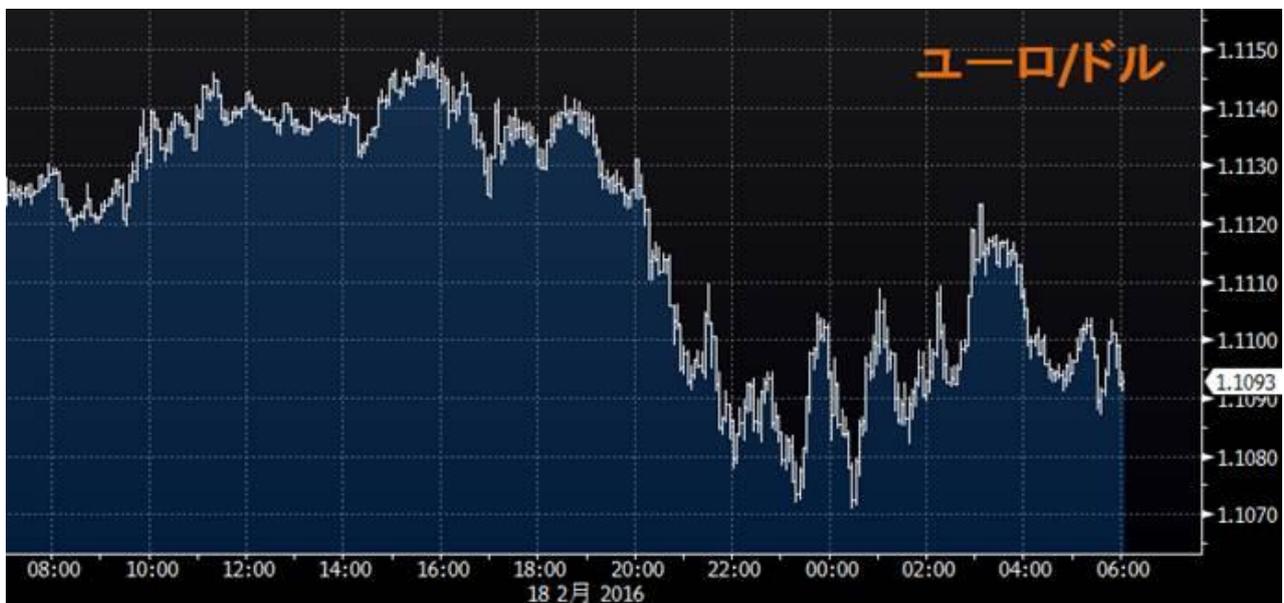
(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が改善したことから、やや堅調な動きも見られた。しかし、堅調な展開で始まった株価がマイナス圏に下落したことや、原油価格が下落に転じたことを受けて、円を買い戻す動きが優勢となり、終盤まで軟調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

【今後のテクニカルポイント】

ドル/円は、週足ベースで、一目均衡表の雲を下抜けており、一段の下げも考えられる。ただ、ここまでトップとボトムは13週サイクルで回っており、先週13週目でボトムを付けた可能性が考えられる。

このサイクル・パターンが継続する場合には、次のトップは、ボトムの週から数えて13週目である5月第1週目と予測できる。また、上昇サイクルのみを考慮した場合、3月の第3週目がトップとなる可能性も考えられる。13週サイクル上の上値目標は、118.86~120.70と予測。一方、3月の第3週目（6週サイクル）がトップとなる場合には、116.67（一目計算値）~117.42（6週サイクルの計算値）と予測できる。

現状のチャート形状から、一目均衡表の雲下限ラインに沿って上昇するとも考えられるが、雲の中に入り込む展開となる場合には、相場の展開が速くなる可能性も想定しておきたい。なお、先週のボトムである110.96を更新する場合には、次がトップでなくボトムとなる場合も考えられる。



提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。